

こにちは!

民生委員児童委員です



「高齢者のハロウィン」から学んだこと



及川 伸子 (民生委員児童委員)

川崎市多摩区

生田第2地区民生委員児童委員協議会

私の担当する地区「寺尾台」は、小田急線の読売ランド前駅から徒歩10分ほど、日本女子大学の生田キャンパスに面した緑豊かな閑静な住宅地です。町ができて50年。新興住宅地の特性としてある時期から高齢化が急激に進み、寺尾台も高齢化率30%を超えています。

子どもが少ないこの町で、昨年10月26日、子どもたちと高齢者によるハロウィンのお祭りが行われました。

発案は子ども会の役員で、地域の人たちとハロウィンをしたいと民生委員児童委員に依頼がありました。そこで、仮装した子どもたちが飾り付けをした高齢者宅を回り、お菓子をもらうという企画を考えました。高齢者も当日が近づくとつれ盛り上がり、仮装をして子どもたちを驚かそうという方も出てきたほどです。初めてのイベントは成功裏に終わり、うれしい感想をいただきました。



子ども会の皆さまからの感謝のカード

イベントの成功には2つのポイントがありました。1つ目は「人」の協力です。寺尾台では民生委員児童委員と地域包括支援センターの共催で10年以上「転倒防止体操」を行っています。今回のハロウィン・イベントで中心になってくださったのが体操の参加者でした。また、日頃から民生委員児童委員の活動を支えてくれる、寺尾台自治会の「福祉委員」の協力も得ることができました。

2つ目は「地域」の協力。寺尾台唯一のスーパーマー

ケットである生協では、仮装した子どもたちによる店内パレードや、お菓子の協力もしていただきました。

日頃の声掛けや転倒防止体操などで地域と関わっていたこと、生協とは高齢者の見守りや安否確認でつながっていたことで、すぐに協力体制ができたのだと思います。

ハロウィンは高齢者にも喜ばれる行事であることに気が付きました。子どもにつられて高齢者も仮装を楽しみましたし、子どもにお菓子をあげられる役どころも魅力です。お母さんたちとの交流もほほ笑ましいものでした。

何よりも、高齢者の皆さまが今まで見たことのないくらい生き生きとしていたのが印象的でした。今回、出来上がった行事への招待ではなく、仮装の道具一つとっても、ある方はお嬢様と用意し、ある方は仲間内で考えを巡らせ、アイデアが浮かばない方にはこちらから提案するなど、一人ひとりができる事を考え、探して、参加され、皆さんとても楽しそうでした。

何歳になっても人と関わり、能力をフル活用して楽しむことは喜びです。そのためにも「与える形の高齢者支援」から「一緒に作る参加型の支援」を心掛けねばと、今回の行事を通して学びました。この感覚を忘れぬよう、これからも民生委員児童委員活動に取り組みたいと思います。

川崎市多摩区は、かつては「多摩川梨」の栽培で知られるように農村地帯としての景観を多く残していましたが、都心へのアクセスが良いことから、宅地開発が進み、平成14年には区の人口が20万人を超えました。109,473世帯に対して、8地区民児協234名の民生委員児童委員が活動しています。

(川崎市民生委員児童委員協議会)

民生委員制度は、平成29年で100周年を迎えました。左上のマークは、100周年シンボルマークです。

一般家庭から大型ビルまで最新のエレクトロ技術により皆様の安心と安全を提供致します。防犯カメラや新型【AED】も取扱っております。

京浜警備保障株式会社

代表取締役社長 **岡本 誠一郎**

本社 〒221-0045 横浜市神奈川区神奈川2-8-8 第一川島ビル
☎(045)461-0101 代表 FAX(045)441-1528

一般社団法人

神奈川県福祉研究会

福祉施設経営相談室 税務・会計の専門相談員

理事 伊藤 正孝(☎045-412-2110)

同 辻村 祥造(☎045-311-5162)

同 西迫 一郎(☎046-221-1328)

同 林 雄一郎(☎0466-26-3351)

代表理事 八木 時雄(☎042-773-9266)

あなたの情報発信のおてつだい
デザイン・印刷・ホームページ制作



きかんし印刷

株式会社 神奈川機関紙印刷所

〒236-0004 横浜市金沢区福浦 2-1-12

営業部 TEL045(785)1700(代) FAX045(784)8902

制作部 TEL045(785)1788 FAX045(780)1588

http://www.kki.co.jp/